

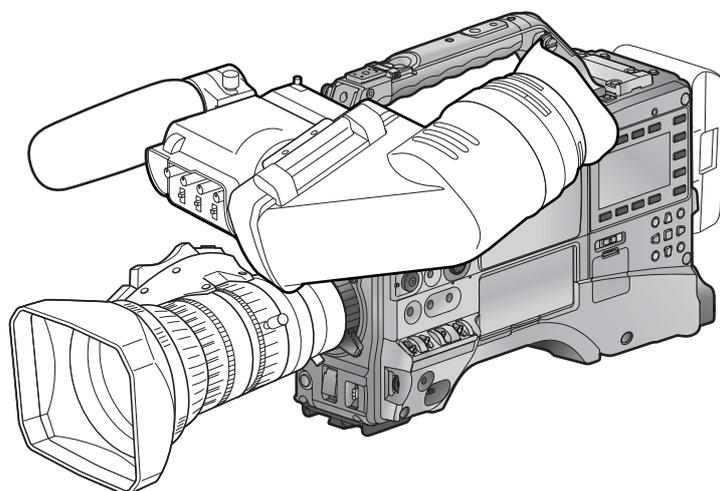
 **今すぐご登録を!**
本機は P2HD 5 年間無償
修理特約の対象商品です。
詳しくは 23 ページをご覧ください。
http://panasonic.biz/sav/pass_j/

Panasonic®

取扱説明書 簡易版

メモリーカードカメラレコーダー
品番 **AG-HPX600**

P2HD



AVC INTRA

DVC PRO HD

DVC PRO 50

DVC PRO

簡易版 取扱説明書

本書は、取扱説明書より一部の内容を抜粋したものです。詳細は、同梱のCD-ROM に収録されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。(2 ページ)

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意.....	3
ご使用前に	6
主な特長.....	7
システム構成	8
付属品.....	9
電源部、およびアクセサリ取り付け部.....	9
音声機能部（入力系）.....	10
音声機能部（出力系）.....	11
撮影・記録 / 再生機能部.....	11
メニュー操作部、およびサムネール操作部	14
タイムコード関連部.....	15
警告 / 状態表示部.....	16
SmartUI 表示（[HOME] 画面）.....	17
設定メニューの構成.....	18
設定メニューの基本操作.....	20
SmartUI の基本操作.....	20
SmartUI の設定メニュー項目の初期化.....	20
設定メニューの構成.....	21
SmartUI のメニュー操作概要.....	22
本機搭載ファームウェアのアップデート.....	23
保証とアフターサービス（よくお読みください）.....	23
修理を依頼される時.....	23
定格.....	24
定格.....	24

- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI, HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Apple、Macintosh、Mac OS、QuickTime は、Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- UniSlot は池上通信機株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- Use of DCF Technologies under license from Multi-Format, Inc.

■ 取扱説明書 PDF ファイルの開き方

CD-ROM を挿入してソフトウェアのインストール画面が立ち上がる場合は、インストールを中止してください。
 CD-ROM 内の [INDEX.pdf] を開くと取扱説明書の一覧が表示されます。
 開きたい取扱説明書のドキュメント名をクリックしてください。

- PDF ファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® が必要です。
 アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらも SD メモリーカードと記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売品の AJ-P2E064FG など）を「P2 カード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

  してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…

 ■ バッテリーの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
 ■ バッテリーは、分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
 ■ バッテリーは、電子レンジやオープンなどで加熱しない
 ■ バッテリーは、炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
 （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
 ⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
 ⇒ 本機と接続検証済みのものを推奨します。
 バッテリーに付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
 （接続検証済みバッテリーについては、取扱説明書（PDF）の 87 ページを参照してください。）
 ⇒ バッテリーは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。

 ■ 充電するときは、必ずバッテリーメーカー指定の充電器を使用する
 （指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。）
 ⇒ 充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。

警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する

 ■ 異常があった時は、直ちにバッテリーを外す
 [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
 （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。）
 ⇒ 外部 DC 電源で使っている場合は、DC コードを外してください。
 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 警告 (つづき)

	<p>■ DC コードのプラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグは使用しないでください。 (DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> <p>■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災の原因になります。) ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。</p> <p>■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p> <p>■ 外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒ 詳しくは取扱説明書 (PDF) の 89 ページを参照してください。 (DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> <p>■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒ 詳しくは取扱説明書 (PDF) の 89 ページを参照してください。 ⇒ 外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒ 外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。</p> <p>■ レンズの取り付け・締め付けは確実に (落下すると事故の原因になります。)</p>
	<p>■ DC コードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。) ⇒ DC コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 (DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> <p>■ 乗り物を運転しながら使わない (事故の誘発につながります。) ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</p> <p>■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない (ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)</p> <p>■ メモリーカード (別売品) は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p> <p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど * の原因になります。) ⇒ 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
 分解禁止	<p>■ ワイヤレススロット以外のカバーは外さない (火災や感電の原因になります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p> <p>■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>


注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。</p>
	<p>■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)</p>
	<p>■ イヤホン使用時は音量を上げすぎない (イヤホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</p>
	<p>■ コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する (コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼす恐れがあります。)</p>
	<p>■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けられないよう固定したりカバーなどをする (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)</p>

この装置は、クラスB 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用前に

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。
不要になったバッテリーの廃棄は、バッテリーメーカーの指示に従ってください。



■ レーザー光線についてのご注意

レーザー光線が MOS センサーに照射されると、MOS センサーを破壊するおそれがあります。
レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

■ 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、および P2 カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

■ メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。廃棄 / 譲渡するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文【英文】で記載しております。)

また、ソースコードの入手については、下記のウェブサイトを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

- 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MIT の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文【英文】で記載しております。)

■ USB ドライバーインストール時のご注意

本機 (AG-HPX600) 付属の CD-ROM から、USB ドライバーをパーソナルコンピューターにインストールするときは、“AG-HPX600” を選択してください。

主な特長

P2 メモリーカードカメラレコーダー AG-HPX600 は、カメラ部に新開発した MOS センサーを搭載し、高感度 F12 (59.94 Hz)、高画質、高品質の映像を得ることができます。また、既存の多彩な交換レンズが活用できる 2/3 型レンズマウントを採用し、本体質量約 2.8 kg の抜群の取り回しを実現するコンパクトなボディを実現しています。

50 Hz/59.94 Hz スイッチャブルおよび HD/SD マルチフォーマットに標準対応。AVC-Intra、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV の圧縮記録方式が選択でき、P2 ならではの信頼性・即時性・IT 機能で、収録・編集のワークフロー革新をもたらします。

更に必要な機能だけを選んでインストールできる、オプション機能（有償）追加システムを採用しています。

■ オプション機能（有償）による機能拡張

発売時点で以下のオプション機能（有償）を用意しています。

- ビデオエンコーダーボード AG-YDX600G
プロキシー記録が可能になります。クリップ確認や編集作業に効果的です。
- HD/SD SDI 入力ボード AG-YA600G
〈SDI OUT/IN (OP)〉端子より入力した SDI 信号の記録が可能になります。
- アップグレードソフトウェアキー AG-SFU601G (ネットワーク機能)
IT 機器からのテキストメモ付加などが可能になります。
以降の説明では、このオプションを「ネットワーク機能（有償）」と記載します。
- アップグレードソフトウェアキー AG-SFU602G (制作バック)
幅広い映像制作を可能にする以下の機能を使用可能になります。
 - 1080/23.98PsF システム
 - バリアブルフレームレート (VFR) 記録機能
 以降の説明ではこのオプションを「制作バック（有償）」と記載します。
- アップグレードソフトウェアキー AG-SFU603G (UPLINK 機器制御機能)
UPLINK 機器のデータ転送のスタートまたはストップの操作および接続状態のアイコン表示および機器詳細情報の表示対応が可能になります。
以降の説明では、このオプションを「UPLINK 機器制御機能（有償）」と記載します。
- アップグレードソフトウェアキー AG-SFU604G (プレイリスト編集機能)
プロキシー映像を用いたプレイリスト編集を行う機能です。
プレイリストの編集 / 保存、プレイリストを用いた新しいクリップの作成 (エディットコピー)、プレイリストの SDI 再生などが可能になります。
以降の説明では、このオプションを「プレイリスト編集機能（有償）」と記載します。

■ 50 Hz/59.94 Hz スイッチャブルおよび HD/SD マルチフォーマット

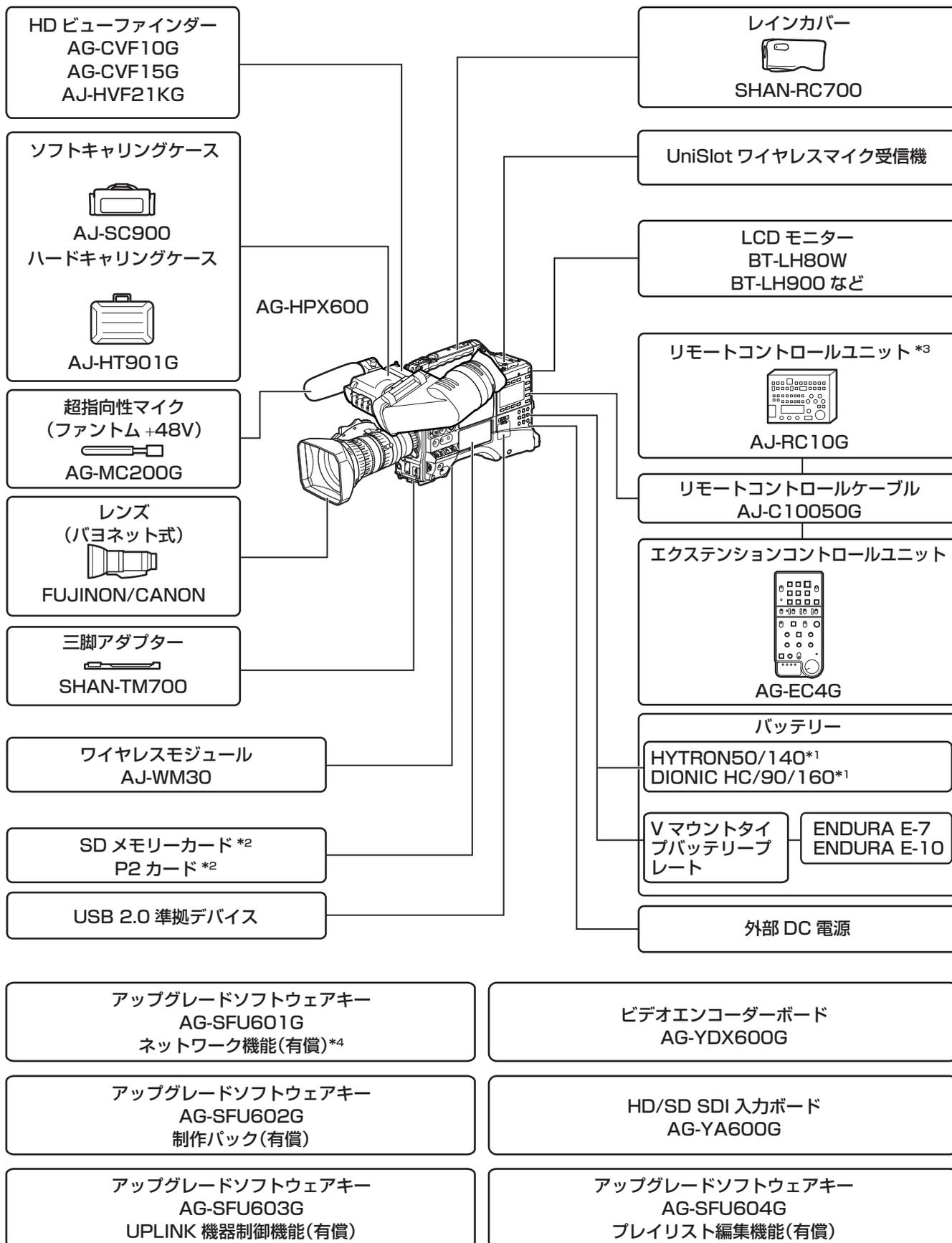
HD/SD 映像フォーマット収録をサポート。50 Hz/59.94 Hz スイッチャブルにより、ニュース取材・番組制作・映画制作のほか、あらゆる用途とグローバルなコンテンツ制作に応えます。1080i/720P HD 収録は放送用として信頼の高い AVC-Intra/DVCPRO HD コーデック、SD 映像は DVCPRO50/DVCPRO/DV のマルチコーデックが選択できます。

音声は全フォーマットで 16 ビット / 48 kHz 非圧縮の高音質オーディオを 4 チャンネル記録可能です。

■ SmartUI

従来の液晶表示窓とオーディオ関連の切り替えスイッチを統合し、新しい操作性を提供します。また IT 機器からのリモート制御など、将来への拡張性も提供します。

システム構成



*1 バッテリーホルダーは、本体に標準装備しています。

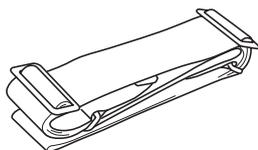
*2 P2 カード、および SD メモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記ウェブサイトのサポートデスクを参照してください。
<http://panasonic.biz/sav/>

*3 同梱されている CD-ROM の AJ-RC10G の取扱いガイドを参照してください。

*4 ネットワーク機能において、無線 LAN 機能を使用するには、ワイヤレスモジュール AJ-WM30 が必要です。ネットワーク機能のストリーミング機能を使用するには、ビデオエンコーダーボード AG-YDX600G が必要です。

付属品

ショルダーベルト (CD-ROM 内 PDF 取扱説明書 96 ページ)



マウントキャップ (製品本体にあらかじめ取り付けられています)



CD-ROM

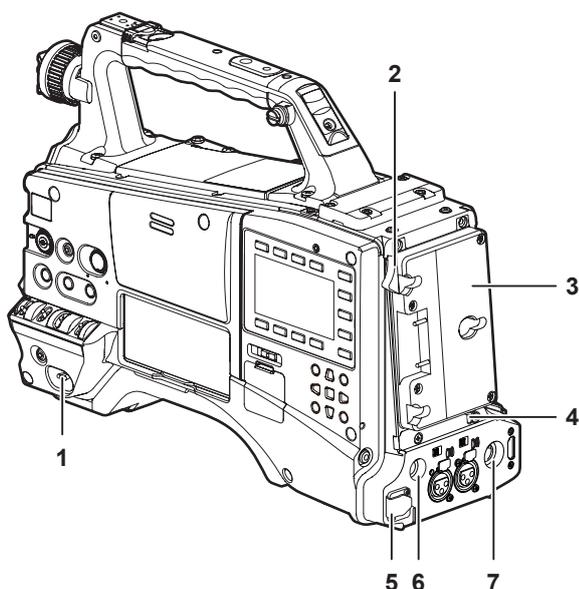
- 取扱説明書
- ユーティリティソフトウェア
インストール方法は CD-ROM 内のインストールマニュアルを参照してください。



NOTE

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

電源部、およびアクセサリ取り付け部

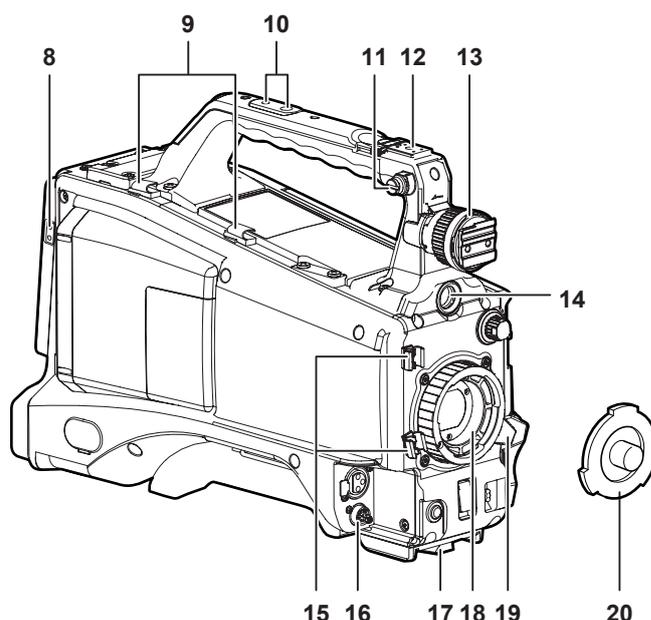


- 1 <POWER> スイッチ**
電源を ON/OFF するスイッチです。
- 2 バッテリー取り外しレバー**
バッテリー取り外しレバーを下まで倒してバッテリーを取り外します。
- 3 バッテリーホルダー**
アントンパワー製のバッテリーを取り付けます。
- 4 照明コントロールスイッチ**
- 5 <DC IN> 端子**
外部電源の入力用端子です。外部 DC 電源と接続します。
- 6 <DC OUT> (DC 電源) 出力端子**
DC12 V の出力端子です。最大 1.5 A の電流を取り出すことができます。

NOTE

- 外部機器を接続する場合は極性を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因になります。

- 7 <REMOTE> 端子**
リモートコントロールユニット AJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。また、エクステンションコントロールユニット AG-EC4G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。
- 8 照明出力用端子**
アントンパワー製のウルトラライト 2 (別売品)、または同等品で 50 W 以下のビデオライトが接続できます。ライトを点灯時はバッテリー残量が急激に減少します。ライト使用時には 90 Wh 以上のバッテリーの使用をお勧めします。
- 9 ケーブルホルダー**
ライトケーブル、マイクケーブルの固定に使用します。



- 10 アクセサリ取り付け穴**
アクセサリを取り付けます。アクセサリ取り付けの用途以外には使用しないでください。
 - 取り付け穴サイズ
 - 1/4-20 UNC (ねじ長さ 10 mm 以下)
 - 3/8-16 UNC (ねじ長さ 10 mm 以下)
- 11 ショルダーベルト取付金具**
ショルダーベルトを取り付けます。
- 12 ライトシュー**
ビデオライトなどを取り付けます。
 - 取り付け穴サイズ
1/4-20 UNC (ねじ長さ 6 mm 以下)
- 13 ビューファインダー左右位置固定リング**
ビューファインダーの左右位置を調整する際にゆるめ、ビューファインダーを左右にスライドさせて見やすい位置に調整します。調整後、締めて固定します。
- 14 <VF> 端子**
ビューファインダー AG-CVF10G (別売品) を取り付けます。
- 15 レンズケーブル / マイクホンケーブルクランプ**
レンズケーブルやマイクホンケーブルを固定するためのクランプです。
- 16 <LENS> 端子**
レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書を参照してください。
- 17 三脚マウント**
本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。
- 18 レンズマウント (2/3 型バヨネット式)**
レンズを取り付けます。

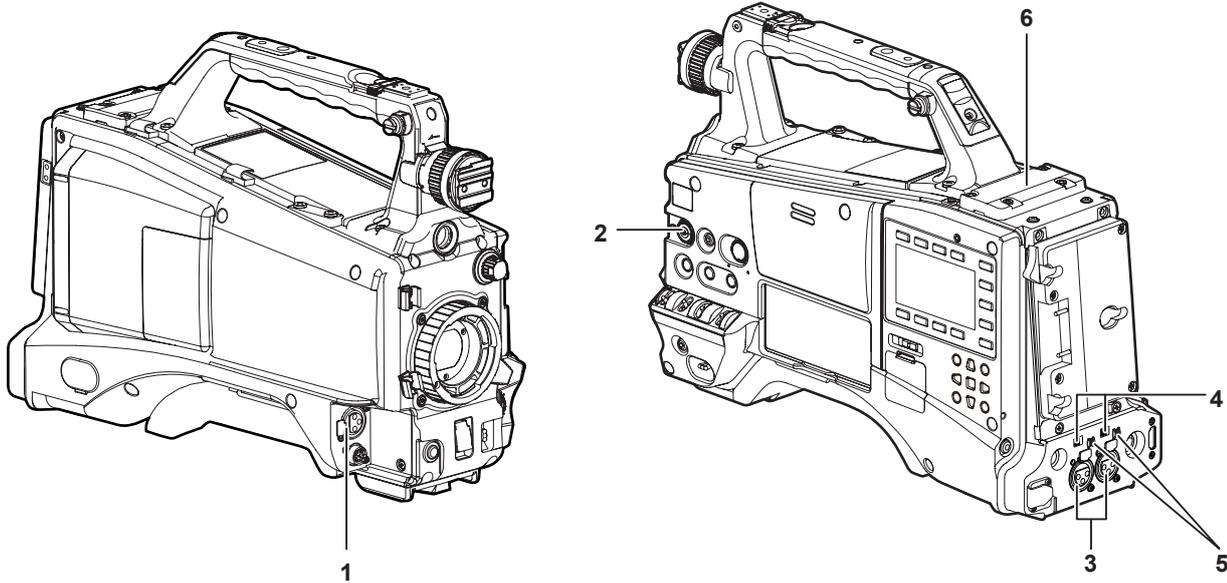
19 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

20 マウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップを取り付けます。

音声機能部（入力系）



1 〈MIC IN〉（マイク入力）端子

- マイクロホン（別売品）を接続します。
- ファンтомマイクの使用も可能です。使用するときは、設定メニューの [AUDIO SETUP] 画面の [F.MIC POWER] 項目を [ON] に設定してください。[ON] に設定している時にマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入る場合があります。マイク接続時には問題ありません。

2 〈F.AUDIO LEVEL〉（音声録音レベル調整）つまみ

- 音声チャンネル 1 ～ 4 の録音レベルが調整できます。
- SmartUI の [AUDO2:INPUT] 画面で録音レベルの調整方法を [MANU] に設定すると、このつまみで音声チャンネルの録音レベルが調整できます。
- 設定メニューの [AUDIO SETUP] 画面の [FRONT VR CH1] 項目、[FRONT VR CH2] 項目、[FRONT VR CH3] 項目、[FRONT VR CH4] 項目で、このボリュームの操作をどの入力端子に対して有効にするかを設定できます。

3 〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉（音声入力チャンネル 1/3、2/4）端子

オーディオ機器、またはマイクロホンを接続します。

4 〈LINE〉 / 〈MIC〉（ライン入力 / マイク入力）切り替えスイッチ

〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉（音声入力チャンネル 1/3、2/4）端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

〈LINE〉	ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号
〈MIC〉	マイクからの音声入力信号

5 マイク入力 〈+48V〉 ON/OFF スイッチ

〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉（音声入力チャンネル 1/3、2/4）端子に接続されたマイクに電源の供給を ON/OFF するスイッチです。

〈+48V〉	マイクに +48 V 電源を供給します。
〈OFF〉	マイクに電源を供給しません。

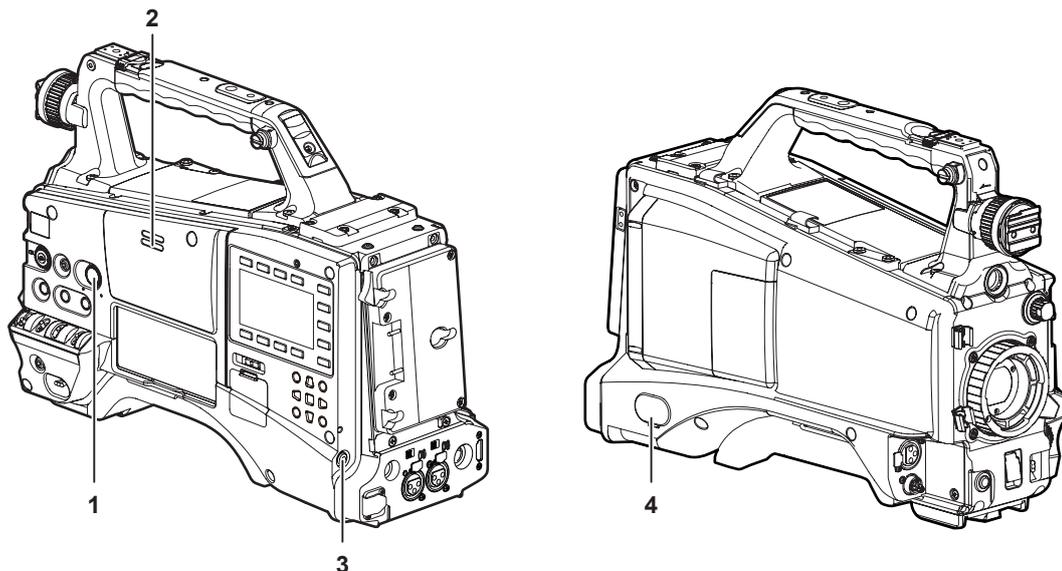
NOTE

- マイク入力 〈+48V〉 を設定している時に 〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉 端子にマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入る場合があります。マイク接続時には問題ありません。

6 ワイヤレススロット

UniSlot 方式のワイヤレスレシーバー（別売品）を取り付けることができます。

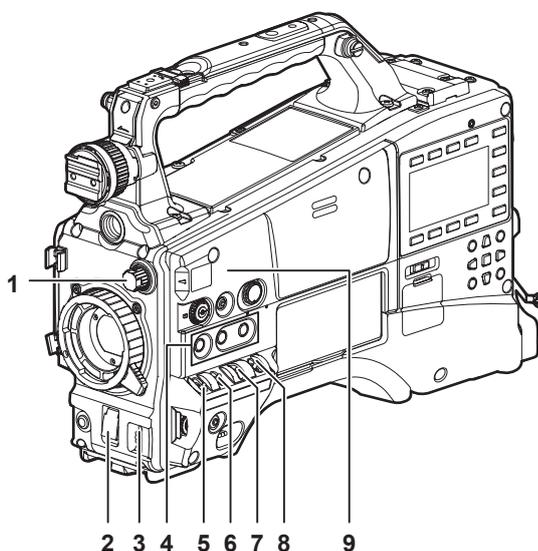
音声機能部 (出力系)



- 1 <MONITOR> (音量調整) つまみ
モニタースピーカー、イヤホンの音量を調整します。
- 2 スピーカー
記録中は EE 音声を、再生中は再生音声をモニターできます。
<PHONES> 端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

- 3 <PHONES> (イヤホン) 端子 (ミニジャック)
オーディオモニター用イヤホンの接続端子です。(ステレオ)
- 4 <AUDIO OUT> 端子
● 音声チャンネル 1/2、または音声チャンネル 3/4 に記録された音声信号を出力します。
● 出力される信号は、SmartUI の [AUDO3:MONI] 画面で選択します。

撮影・記録 / 再生機能部



■ 撮影・記録 (カメラ部)

- 1 <ND FILTER> (フィルター切り替え) つまみ
MOS センサーに入る光の量を調整します。外光が強いときに使用します。

つまみ位置	設定	内容
<1>	<CLEAR>	ND フィルターを使用しない。
<2>	<1/4ND>	MOS センサーに入る光の量を 1/4 にする。
<3>	<1/16ND>	MOS センサーに入る光の量を 1/16 にする。
<4>	<1/64ND>	MOS センサーに入る光の量を 1/64 にする。

- 2 シャッタースイッチ
電子シャッターの ON/OFF 切り替えスイッチです。

<OFF>	電子シャッターは動作しません。
<ON>	電子シャッターが動作します。
<SEL>	電子シャッターのスピードを変更することができます。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。<SEL> 側に倒すごとに、シャッタースピードが変化します。

- 3 <AUTO W/B BAL> スイッチ

<AWB>	ホワイトバランスを自動調整します。側面の <WHITE BAL> スイッチを <A>、または の位置にして、スイッチを操作すると、数秒で調整され、調整値がメモリーに記録されます。 <WHITE BAL> スイッチが <PRST> の位置の場合、<AUTO W/B BAL> スイッチを <AWB> 側に倒して、色温度の表示中にもう一度 <AWB> 側に倒すと、プリセット色温度を変更することができます。
<ABB>	ブラックバランスを自動調整します。

4 <USER> ボタン (<USER MAIN> / <USER1> / <USER2>)
ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

5 <DISP/MODE CHK> スイッチ

- 本機の各種撮影状態の確認などができる跳ね返りスイッチです。
- <OFF> 側に倒すと、ビューファインダー画面の動作状態表示とエリアなどの枠表示、カウンター、マーカー、セーフティーゾーン表示以外のすべての表示が OFF になります。
 - <CHK> 側に倒すと、撮影待機または撮影中に各種撮影機能の設定状態、<USER> ボタン (<USER MAIN> / <USER1> / <USER2>) に割り当てた機能の一覧などがビューファインダー画面に表示されます。情報の表示中にさらにもう一度 <CHK> 側に倒すと、プロキシーとネットワークの設定状態が表示されます (オプション導入時のみ)。モードチェックの情報表示は約 3 秒で消えます。

6 <GAIN> スイッチ

- 撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。
- <L> / <M> / <H> ポジションのゲイン値は、設定メニューの [SW MODE] 画面の [LOW GAIN] 項目、[MID GAIN] 項目、[HIGH GAIN] 項目で設定できます。
- 出荷時の設定は、L = 0 dB、M = 6 dB、H = 12 dB です。

 NOTE

- マイク入力 (+48V) を設定している時に <AUDIO IN CH1/3>、<AUDIO IN CH2/4> 端子にマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入る場合があります。マイク接続時には問題ありません。

7 <OUTPUT> / <AUTO KNEE> 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号を選択します。

CAM.AUTO KNEE ON	カメラで撮影している映像が出力され、オートニー機能が動作します。 また、オートニー機能の代わりにダイナミックレンジストレッチャー (DRS) 機能を割り付けることも可能です。
CAM.AUTO KNEE OFF	カメラで撮影している映像が出力され、オートニー機能は動作しません。 ニーポイントはメニュー操作で設定されたレベルに固定されます。
<BARS>	カラーバー信号が出力されます。オートニー機能は動作しません。

 NOTE

- オートニー機能
高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときにオートニー機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。
オートニー機能は下記のような場面の撮影に効果を発揮します。
 - 晴天時に日陰の人物を撮るとき
 - 車内、または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影するとき
 - コントラストの強い場面を撮るとき

8 <WHITE BAL> (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ
ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

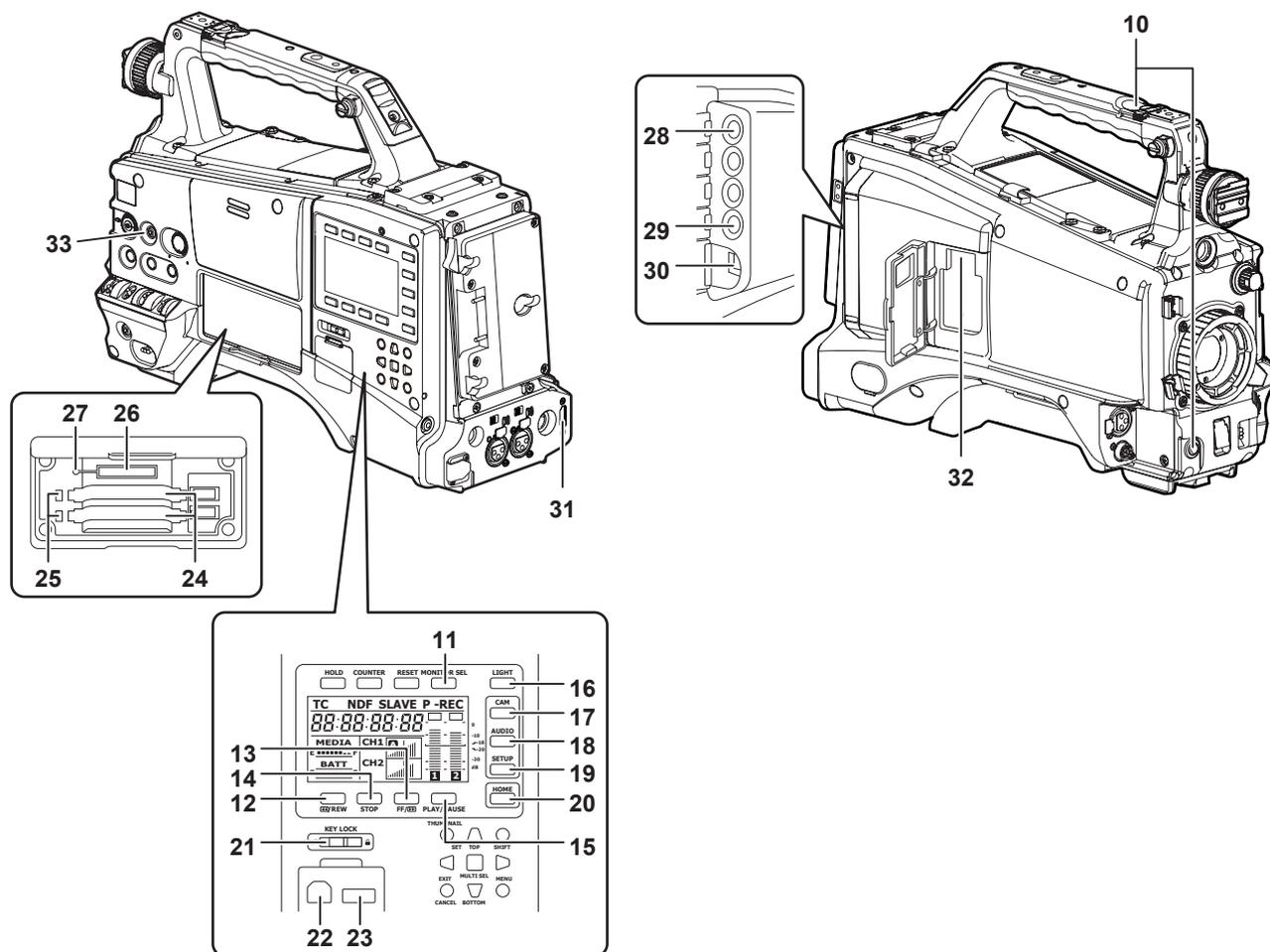
<PRST>	ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷時は、3200 K に設定しています。 • 設定メニュー、または <AUTO W/B BAL> スイッチを <AWB> 側に倒して、色温度の表示中にもう一度 <AUTO W/B BAL> スイッチを <AWB> 側に倒すごとに、色温度を 3200 K、5600 K およびユーザーが指定するバリエーション値に順次切り替えることができます。バリエーション値は SmartUI で設定できます。また [F.JOG CT] 機能を <USER> ボタンに割り当てることで、ジョグダイヤルボタンで設定することができます。
<A> / 	<AUTO W/B BAL> スイッチを <AWB> 側に押すとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー B に記憶されます。

設定メニューで、自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス (ATW) 機能を に割り当てることも可能です。

9 焦点マーク (<Φ>)

MOS センサーの焦点位置を示します。

被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。



■ 撮影・記録 / 再生機能部 (記録部)

10 〈REC〉 ボタン

ボタンを押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。
このボタンは、レンズ側の VTR ボタンと同じ機能です。

11 〈MONITOR SEL〉 ボタン

ボタンを押すごとに、スピーカー、〈PHONES〉 端子、および 〈AUDIO OUT〉 端子に出力される音声チャンネルを [CH1/2]、[CH3/4] に切り替えます。連動して音声チャンネルレベルメーターのチャンネル表示も切り替わります。
SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

12 〈◀◀/REW〉 (早戻し) ボタン

停止中に押すと高速逆再生になります。
再生中に押すと約 4 倍速の高速逆再生になります。
また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。
SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

13 〈FF/▶▶〉 (早送り) ボタン

停止中に押すと高速再生になります。
再生中に押すと約 4 倍速の高速再生になります。
また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。
SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

14 〈STOP〉 (停止) ボタン

再生を停止するときに押します。
また、インターバル記録、ワンショット記録を停止するときやワンクリップのクリップ連結を一旦終了するときに押します。
SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

15 〈PLAY/PAUSE〉 (再生 / 一時停止) ボタン

ビューファインダー画面やモニター画面を使って、再生画像を見るときに押します。
再生中に押すと、再生を一時停止します。
SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

16 〈LIGHT〉 ボタン

SmartUI の照明をコントロールします。押すごとに SmartUI の照明の点灯 / 消灯を切り換えます。

17 〈CAM〉 ボタン

SmartUI に [CAMERA] 画面を表示します。

18 〈AUDIO〉 ボタン

SmartUI に [AUDIO] 画面を表示します。

19 〈SETUP〉 ボタン

SmartUI に [SETUP] 画面を表示します。

20 〈HOME〉 ボタン

SmartUI に [HOME] 画面を表示します。

21 〈KEY LOCK〉 スイッチ

SmartUI およびサムネール操作に関連する各ボタンの操作を禁止します。ただし 〈LIGHT〉 ボタンの操作は禁止されません。

22 〈USB2.0〉 端子 (デバイス)

23 〈USB2.0〉 端子 (ホスト)

USB 2.0 ケーブルを接続します。
設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面の [PC MODE] 項目を [ON] に設定すると、USB 2.0 を使ったデータ転送が可能になります。
このとき、本機での記録・再生やクリップの操作は制限されます。

24 P2 カード挿入部

25 P2 カードアクセス LED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

26 SD メモリーカード挿入部

SD メモリーカード（別売品）の挿入口です。SD メモリーカードは、カメラの設定メニューやレンズファイルの記録 / 呼び出し、メタデータのアップロードやプロキシー記録（有償）などで使用します。

NOTE

- SD メモリーカードの使用上の注意
 - 本機には、SD 規格、または SDHC 規格に準拠した SD メモリーカードを入れてご使用ください。
 - MMC (Multi Media Card) は使用できません。（撮影することができなくなるおそれがありますので、ご注意ください）
 - miniSD/microSD カードを本機で使用する場合は、必ず、miniSD/microSD カード専用のアダプターを装着してご使用ください。（miniSD/microSD アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。アダプターには必ず、メモリーカードを入れてご使用ください）
 - 当社製の SD メモリーカード、および miniSD/microSD カードをご使用いただくことをお勧めします。また、フォーマットは必ず、本機で行ってください。
 - 本機では、8 MB から 2 GB の SD メモリーカード、および 32 GB までの SDHC メモリーカードが使用できます。また、プロキシー記録（有償）をする場合は、SDHC メモリーカード、または「High Speed」などの表示がある 256 MB から 2 GB の SD メモリーカードをご使用ください。
 - 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記ウェブサイトのサポートデスクを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/>

27 ビジー（動作状態表示）ランプ

SD メモリーカードの動作状態を表示するランプで、動作時に点灯します。

NOTE

- ランプ点灯時は、カードを出し入れしないでください。SD メモリーカードを破損するおそれがあります。

28 <SDI OUT/IN (OP)> 端子

SDI 信号を出力します。

- HD/SD SDI 入力ボード（有償）を装着することにより、SDI 信号の入力が可能になります。

29 <MON OUT> 端子

モニター用映像の出力端子です。<SDI OUT/IN (OP)> 端子とは独立した映像が出力できます。また SmartUI の [SET02:MON/HDMI FORMAT] 画面で HD SDI 信号もしくはダウンコンバートした SD SDI 信号、または VBS 信号が選択できます。クロスコンバートおよびアップコンバートには対応していません。

30 <LAN> 端子 (100BASE-TX)

ネットワーク機能（有償）を導入すると有効になります。

<LAN> 端子に接続するケーブルは、シールドケーブルをご使用ください。

31 <HDMI> 端子

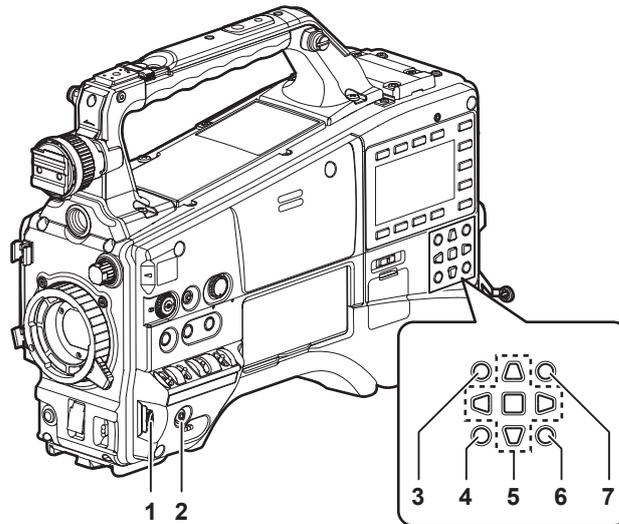
32 <USB2.0> 端子 (サブホスト)

ワイヤレスモジュール AJ-WM30（別売品）を装着します。また、オプションのアップデートソフトウェアキー（AG-SFU603G : UPLINK 機器制御機能（有償））を導入した場合に、UPLINK 機器と本体を接続する USB ケーブルを装着します。

33 <FOCUS ASSIST> ボタン

画面中央部の映像を拡大表示する機能を ON/OFF します。

メニュー操作部、およびサムネール操作部



1 ジョグダイヤルボタン

- 設定メニューを開いている状態で、設定メニューのページの移動、項目の選択や設定を行います。
- 設定メニュー表示中、ジョグダイヤルボタンを下側に回すとメニューカーソルが下側に移動し、上側に回すとメニューカーソルが上側に移動します。また、ジョグダイヤルボタンを押すと設定内容が確定します。
- メニューが開かれておらず、シャッタースイッチを <ON> にしてシンクロスキャンが選択されている時には、シンクロスキャンのスピードを調整する事が出来ます。
- ホワイトバランスの設定がバリエアブルの時に、[F.JOG CT] 機能を割り当てられた <USER MAIN>、<USER1>、<USER2> ボタンを押すことにより、ジョグダイヤルボタンでのホワイトバランスのバリエアブル値を調整することができます。

2 <MENU> ボタン

- ボタンを長押しすると、ビューファインダー画面に設定メニュー画面が表示されます。もう一度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。
- サムネール表示中および記録中は、ボタン操作を受け付けません。

3 <THUMBNAIL> ボタン

ボタンを押すと、ビューファインダー画面および本機に接続しているモニター画面にサムネール画面が表示されます。ただし、記録・再生中は、ボタン操作を受け付けません。

4 <EXIT> / <CANCEL> ボタン

サムネールメニューやプロパティー画面を表示中、表示を前の状態に戻します。また、<SHIFT> ボタンを押しながらこのボタンを押すと、キャンセル機能として動作し、クリップ選択状態を一括で解除する場合などに便利です。

5 カーソル・<SET> ボタン

設定メニューやメニューバー、サムネールの操作を行います。4 つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンが <SET> ボタンです。

6 <THUMBNAIL MENU> ボタン

サムネール表示中に押し、サムネールメニューの操作に移り、クリップの削除などが可能になります。

NOTE

- サムネールの選択やメニューの操作にはカーソル・〈SET〉ボタン、〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉ボタンを使用します。

7 〈SHIFT〉ボタン

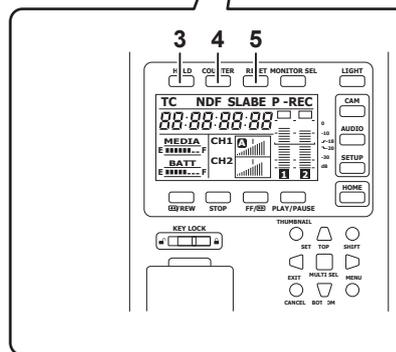
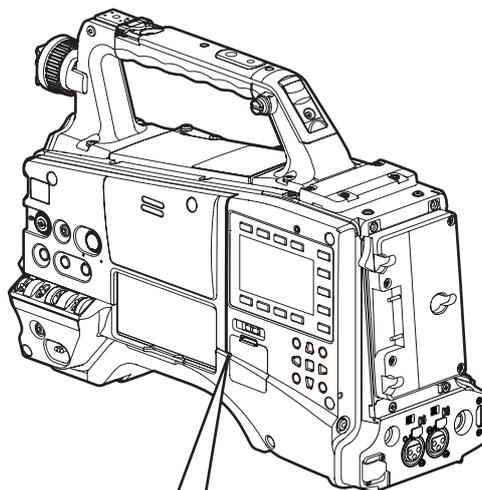
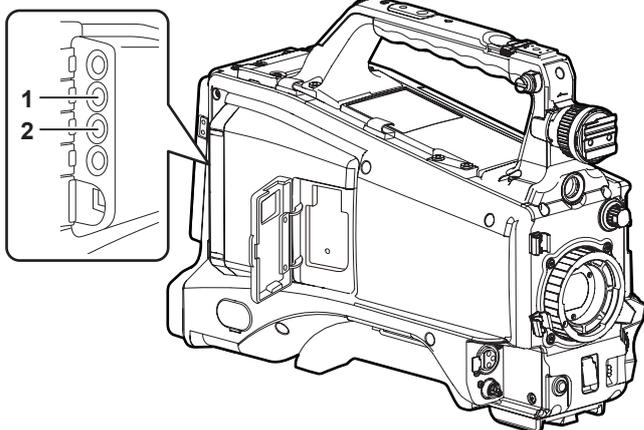
別のボタンと同時に押し使します。

- 〈SHIFT〉ボタン + カーソルボタン (△/▽)

サムネール画面で、先頭または最後のクリップのサムネールにポインターを移動します。

- 〈SHIFT〉ボタン + 〈SET〉ボタン
直前に選択したクリップからポインター位置までのクリップをまとめて選択します。
 - 〈SHIFT〉ボタン + 〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉ボタン
キャンセル機能として動作します。
- 〈SHIFT〉ボタンを押した状態での動作は、各ボタンの下側に表示しています。

タイムコード関連部



1 〈GENLOCK IN〉端子

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。

NOTE

- 入力信号は、HD の Y 信号またはコンポジット信号を供給してください。ただし、本機のコンポジット信号のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

2 〈TC IN/OUT〉端子

- メニューで入力 / 出力を切り替えます。
- タイムコードをロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。
- 外部機器のタイムコードを本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力端子と接続します。

3 〈HOLD〉ボタン

押した瞬間に、カウンター表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影したタイムコード、またはカウンター値を知るときなどに使用します。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

4 〈COUNTER〉(カウンター表示切り替え) ボタン

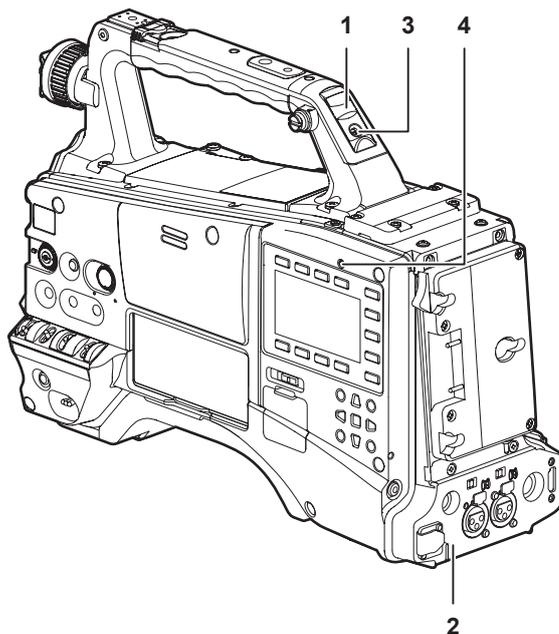
ボタンを押すごとに、カウンター値、タイムコード、ユーザーズピット、およびフレームレート情報をビューファインダー画面に表示します。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

5 〈RESET〉ボタン

タイムコード表示部のカウンター値を 0 にリセットします。SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

警告 / 状態表示部

**1 バックタリーランプ**

バックタリースイッチを ON にすると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

2 リアタリーランプ

バックタリースイッチを ON にすると、バックタリーランプと同様に動作します。

3 バックタリースイッチ

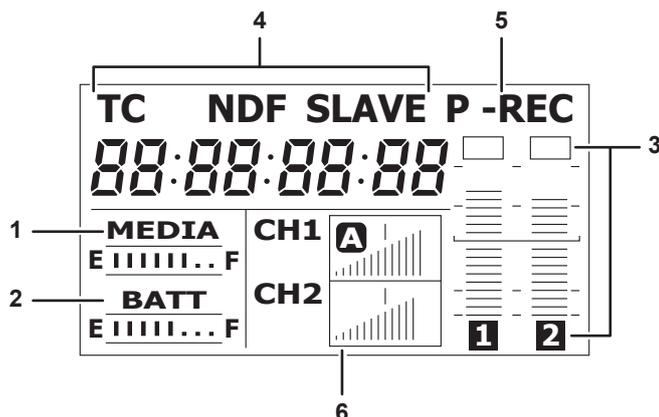
バックタリーランプとリアタリーランプの動作をコントロールします。

ON	バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。
OFF	バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。

4 〈WARNING〉ランプ

メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅、または点灯します。

SmartUI 表示 ([HOME] 画面)



1 メディア残量表示バー

P2 カード残量を 7 個のセグメントで表示します。
1 個のセグメントが示す P2 カード残量時間は 3 分単位ごとに、セグメントが 1 個ずつ消えていきます。

2 バッテリー残量表示バー

デジタル表示 (% 表示) のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が 70% 以上のときに F の位置までセグメントが 7 個点灯します。
バッテリー残量が 70% 未満より 10% 減るごとに、セグメントが 1 個ずつ消えます。

3 音声チャンネルレベルメーター

1 セグメントは 2 dB 刻みとして、最小は -36 dB、[OVER] 表示は最上位の ■ で表示します。
<MONITOR SEL> ボタンを押すごとに、CH1/CH2、ステレオ、CH3/CH4 が切り替わり、連動してレベルメーターのチャンネル表示も切り替わります。
モニター音声に出力されているチャンネルは、チャンネル表示が白抜き表示になります。
ステレオ選択時はチャンネル表示がどちらも白抜き表示になります。

4 タイムコードに関する表示

<COUNTER> ボタンを押すごとに、[CLIP] → [TC] → [tc] → [UB] → [FR] → [CLIP] (ビューファインダー画面表示なし) * → [CLIP] の表示順に切り替わります。

* ビューファインダー画面のタイムコードが非表示になります。

[CLIP]	カウンターを時：分：秒で表示します。	
[TC]	タイムコード値を時：分：秒：フレームで表示します。	
[tc]	タイムコード値を時：分：秒：フレームで表示します。フレームはフレーム桁を 24 フレームに変換して表示されます。	
[UB]	ユーザズビット値を表示します。	
[FR]	撮影するフレームレート情報を表示します。	
	[60i]	60i インターレースモード (60 フィールド / 秒)
	[60P]	60P プログレッシブモード (60 フレーム / 秒)
	[30P]	30P プログレッシブモード (30 フレーム / 秒)
	[24P] *	24P プログレッシブモード (24 フレーム / 秒)
	[24PA] *	24P アドバンスモード (24 フレーム / 秒)
	[50i]	50i インターレースモード (50 フィールド / 秒)
	[50P]	50P プログレッシブモード (50 フレーム / 秒)
	[25P]	25P プログレッシブモード (25 フレーム / 秒)
		* 24P、24PA の場合、シーケンスナンバーが表示されます。

[NDF]	タイムコードがノンドロップフレーム時に表示します。
[DF]	タイムコードがドロップフレーム時に表示します。
[HOLD]	タイムコードジェネレーター / リーダー値をホールドした時に表示します。
[F-RUN]	記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進設定時に表示します。
[R-RUN]	記録中にのみタイムコードを歩進設定時に表示します。
[SLAVE]	タイムコードの外部ロック時に表示します。

5 記録モード表示

[REC]	通常記録
[P-REC]	プリレックモード設定時
[i-REC]	インターバル記録設定
[L-REC]	ループレック記録設定

6 ステータス情報

オーディオレベル表示	オーディオ CH1/CH3 もしくは CH2/CH4 のオーディオボリュームおよびオーディオレベルが自動調整モードであるかを表示します。自動調整モード時は [A] と表示されます。
オーディオ入力	オーディオ CH1、CH2、CH3、CH4 の入力設定を表示します。
USB 接続時	設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面の [PC MODE] 項目が [ON] の時、[PC MODE SEL] で選択されたデバイスを接続している場合に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • USB ホストモード時：[USB HOST CONNECTED] / [USB HOST DISCONNECTED] • USB デバイスモード時：[USB DEVICE CONNECTED] / [USB DEVICE DISCONNECTED]
エラー、カード警告表示	何らかの原因で本機にエラーが発生した時にエラーコードを表示します。

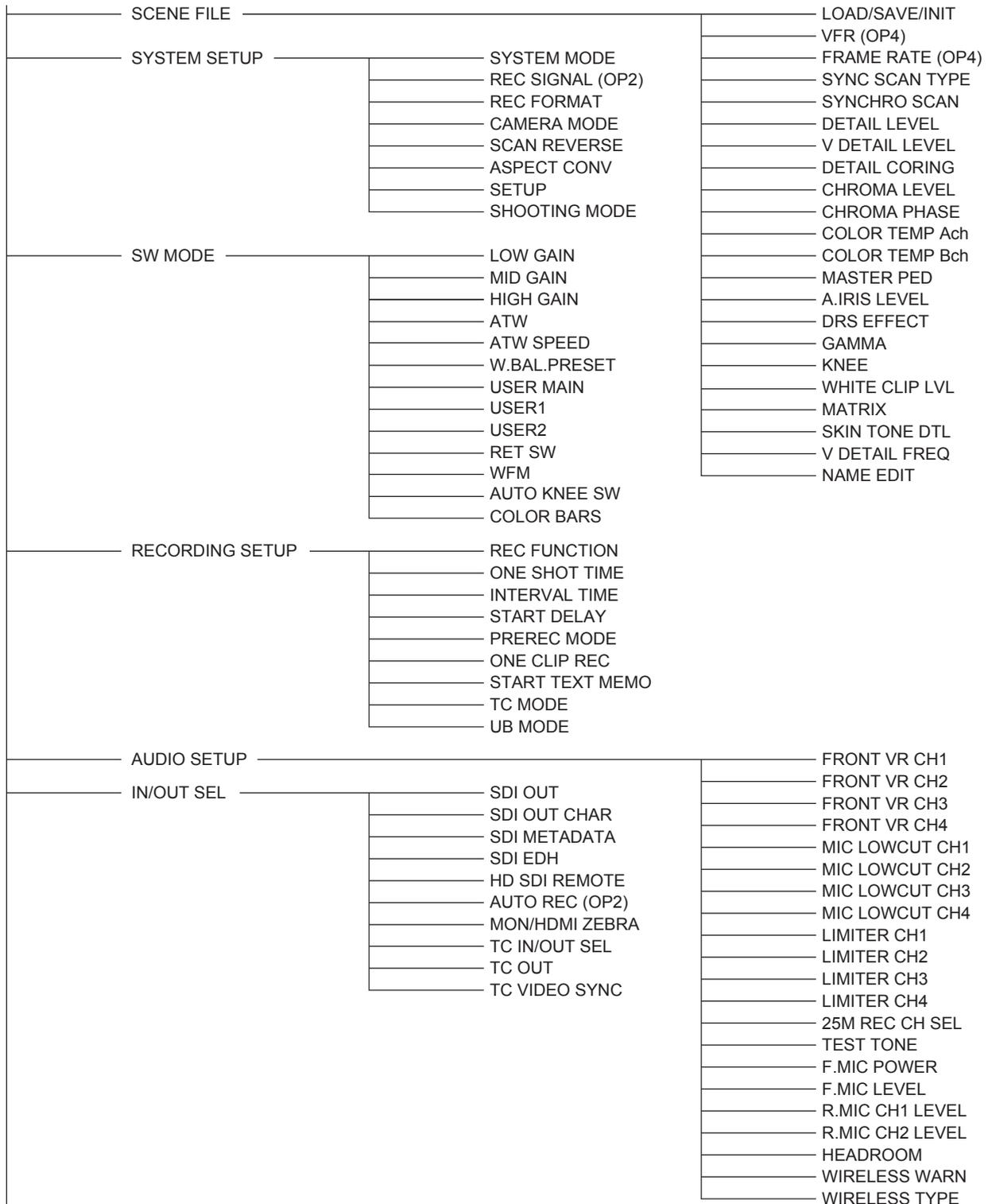
設定メニューの構成

設定メニューの構成一覧では、制限事項を下記のように記載しています。

(OP1)	ビデオエンコーダーボード AG-YDX600G (有償) を導入することで選択できます。
(OP2)	HD/SD SDI 入力ボード AG-YA600G (有償) を導入することで選択できます。
(OP3)	アップグレードソフトウェアキー AG-SFU601G (ネットワーク機能 (有償)) を導入することで選択できます。
(OP4)	アップグレードソフトウェアキー AG-SFU602G (制作バック (有償)) を導入することで選択できます。
(OP5)	アップグレードソフトウェアキー AG-SFU603G (UPLINK 機器制御機能 (有償)) を導入することで選択できます。
(OP6)	アップグレードソフトウェアキー AG-SFU604G (プレイリスト編集機能 (有償)) を導入することで選択できます。

各オプション未導入時はオプション該当項目のメニューはグレー表示になり、選択できません。

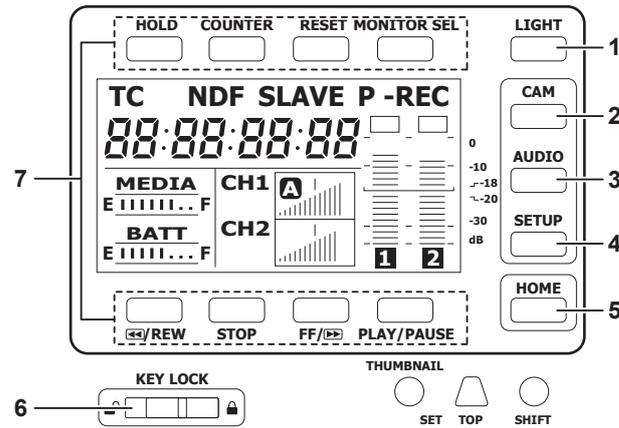
MAIN MENU



次のページに続く

設定メニューの基本操作

SmartUI の基本操作



本機の電源を ON にした時は [HOME] 画面が表示されます。前回起動時の [HOME] 画面の状態を保持しています。

- 1 **〈LIGHT〉 ボタン**
SmartUI のバックライトの ON、OFF を切り替えます。(KEY LOCK) スイッチの状態に関わらず、操作できます。
- 2 **〈CAM〉 ボタン**
カメラ映像に関連する設定画面を表示します。
ボタンを押すごとに、設定画面が順番に切り替わります。
- 3 **〈AUDIO〉 ボタン**
オーディオに関連する設定画面を表示します。
ボタンを押すごとに、設定画面が順番に切り替わります。
- 4 **〈SETUP〉 ボタン**
タイムコードや映像出力などに関連する設定画面を表示します。
ボタンを押すごとに、設定画面が順番に切り替わります。
- 5 **〈HOME〉 ボタン**
 - 別の画面を表示中にボタンを押すと、[HOME] 画面に戻ります。
 - [HOME] 画面を表示中にボタンを押すと、画面中央下のステータス情報の表示内容を変更できます。
 - 〈SHIFT〉 ボタン押しながら 〈HOME〉 ボタンを押すと、サムネール画面で選択されたクリップの情報を表示します。
- 6 **〈KEY LOCK〉 スイッチ**
右へスライドすると、SmartUI の各ボタンの操作をロックします。左へスライドするとロックは解除されます。
* サムネール操作に関連するボタンもロックされます。
- 7 **〈HOLD〉 ボタン、〈COUNTER〉 ボタン、〈RESET〉 ボタン、〈MONITOR SEL〉 ボタン、〈◀◀/REW〉 ボタン、〈STOP〉 ボタン、〈FF/▶▶〉 ボタン、〈PLAY/PAUSE〉 ボタン**
 - [HOME] 画面を表示している場合
各ボタンの上部または下部に印字されている機能が実行されます。
 - [HOME] 画面で 〈CAM〉 ボタン、〈AUDIO〉 ボタン、〈SETUP〉 ボタンを押して、各設定画面を表示している場合
印字されている機能ではなく、SmartUI の [] 内の機能が各設定画面に応じた上部、または下部のボタンに割り当てられます。

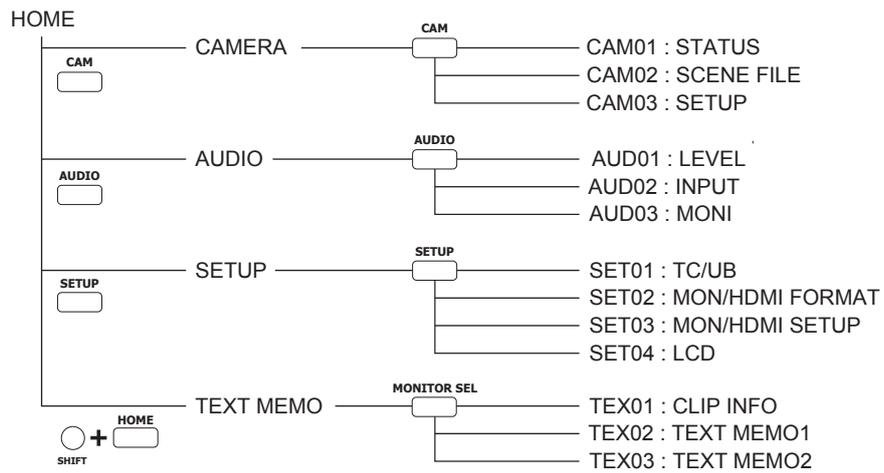
SmartUI の設定メニュー項目の初期化

SmartUI で設定する項目はユーザーファイルに保存されています。

[OTHER FUNCTIONS] 画面の [USER FILE] 項目で [INITIAL] を選択すると、ユーザーファイルの設定メニューを工場出荷時の状態に戻すことができます。

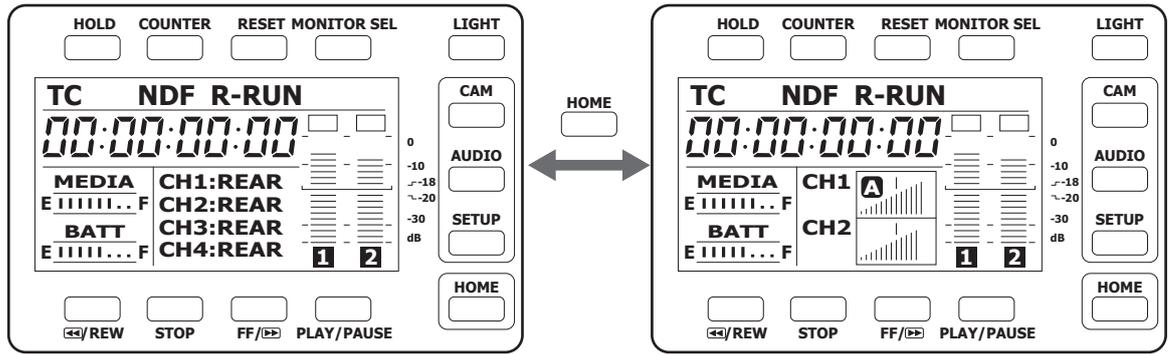
また、[OTHER FUNCTIONS] 画面の [MENU INIT] 項目でユーザーファイルと 6 つのシーンファイルすべてを工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定メニューの構成

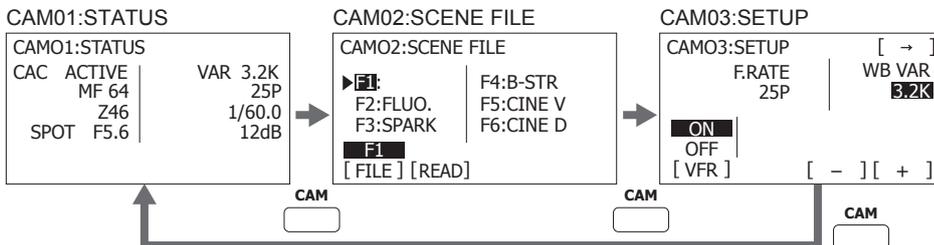


SmartUI のメニュー操作概要

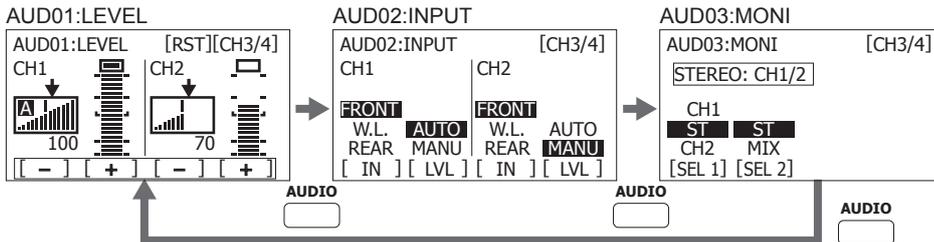
HOME



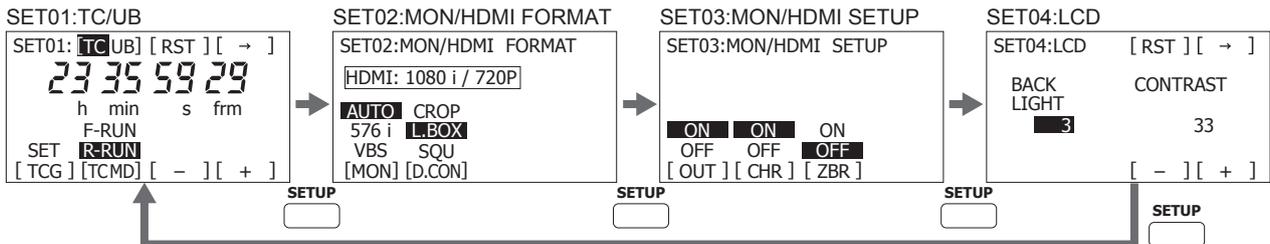
CAMERA



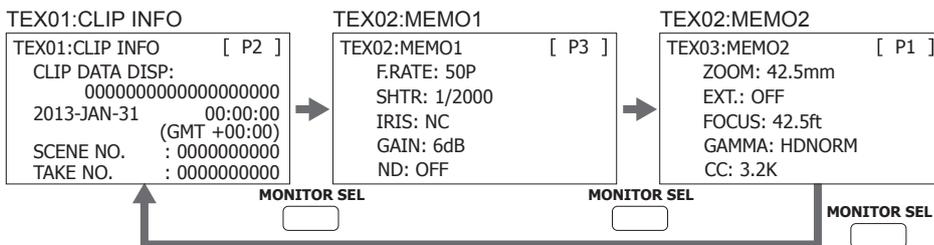
AUDIO



SETUP



TEXT MEMO



本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデート方法には下記の2通りがあります。

1 専用ツール P2 Status Logger で確認し、アップデートする方法

PASS (P2 Asset Support System) に会員登録をいただいたお客様のみ、ご利用することができます。

PASS にログインして専用ツール (P2_Status_Logger) を使用すると、お使いの機器のバージョン情報の確認や、必要なファームウェアのページへリンクしてのダウンロードが可能になります。

P2_Status_Logger のダウンロードおよび使い方については、PASS にログイン後のページを参照ください。

その他、会員登録をいただくといろいろな特典を受けることができます。詳細は PASS (P2 Asset Support System) のサイト (http://panasonic.biz/sav/pass_j/) をご確認ください。

2 ご使用機器本体でバージョンを確認しアップデートする方法

設定メニューの [DIAGNOSTIC] 画面で本機のバージョンを確認のうえ、下記 NOTE に記載されたサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

NOTE

・アップデートはダウンロードしたファイルを、SD メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法について、詳しくは下記ウェブサイトのサポートデスクを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/>

・本機で使用する SD メモリーカードは、SD または SDHC 規格に準拠したものをご使用ください。

また、SD メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社 (裏表紙) までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は「P2HD 5 年間無償修理特約」の対象商品です。お客様が本機を購入後 1 か月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 5 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の P2 Asset Support System ウェブサイトを参照してください。

http://panasonic.biz/sav/pass_j/

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

● 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

● 部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。

● 保守・点検 (有料) についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、P2 カードや SD メモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HPX600
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

定格

総合

電源	DC 12 V (11.0 V - 17.0 V)
消費電力	22 W (本体にオプションボード AG-YDX600G、AG-YA600G 装着時)
	18 W (本体のみ)
	58 W (すべてのアクセサリを接続し、各出力端子の最大供給時の最大電力)

は安全項目です。

動作周囲温度	0°C ~ 40°C
動作周囲湿度	10% ~ 85% (相対湿度)
保存温度	-20°C ~ 60°C
質量	約 2.8 kg (本体のみ、バッテリーおよび付属品を除く)
連続動作時間	約 240 分 (アントンパワー製 DIONIC90 使用時: オプション AG-CVF10G 装着時)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	本体のみ 144 mm × 267 mm × 350 mm (突起部分を除く)

カメラ部

撮像素子	2/3 型、MOS×1	
レンズマウント	2/3 型バヨネット式	
ND フィルター	4 ポジション (CLEAR、1/4ND、1/16ND、1/64ND)	
ゲイン切り替え	-3、0、3、6、9、12、18 dB (18 dB は <USER> ボタンに [GAIN:18dB] で割り当て)	
色温度切り換え	ATW、ATW LOCK、Ach、Bch、プリセット 3200 K、プリセット 5600 K、VAR (2400 K ~ 9900 K)	
シャッター速度	[SYSTEM MODE] =59.94 Hz 時	
	60i/60P モード	1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒
	30P モード	1/30 (OFF)、1/50、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000 秒
	24P モード	1/24 (OFF)、1/50、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000 秒
	[SYSTEM MODE] =50 Hz 時	
	50i/50P モード	1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒
シャッター速度 (シンクロスキャン)	[SYSTEM MODE] =59.94 Hz 時 [SYNC SCAN TYPE] = [sec] 設定時	
	60i/60P モード	1/60.0 ~ 1/249.8 秒
	30P モード	1/30.0 ~ 1/249.8 秒
	24P モード	1/24.0 ~ 1/249.8 秒
	[SYSTEM MODE] =50 Hz 時 [SYNC SCAN TYPE] = [sec] 設定時	
	50i/50P モード	1/50.0 ~ 1/250.0 秒
シャッター速度 (スロー)	設定メニューの [SCENE FILE] 画面の [VFR] 項目が [OFF] の場合に設定可能 [SYSTEM MODE] =59.94 Hz 時	
	60i/60P モード	1/15、1/30 秒
	30P モード	1/15 秒
	24P モード	1/12 秒
	[SYSTEM MODE] =50 Hz 時	
	50i/50P モード	1/12.5、1/25 秒
シャッター開角度	設定メニューの [SCENE FILE] 画面の [VFR] 項目が [OFF] の場合 3 deg ~ 360 deg、0.5 deg ステップで設定可能	
	設定メニューの [SCENE FILE] 画面の [VFR] 項目が [ON] の場合 *1	
	[FRAME RATE] 設定 12P 以上	3 deg ~ 360 deg、0.5 deg ステップで設定可能
	[FRAME RATE] 設定 12P 未満	3 deg ~ 22.5 deg、0.5 deg ステップで設定可能 45 deg、90 deg、180 deg、360 deg

バリアブルフレームレート*1	1080-59.94i	1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/24/25/26/27/28/30 (フレーム / 秒)
	1080-50i	1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/23/24/25 (フレーム / 秒)
	720-59.94P	1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/24/25/26/27/28/30/32/34/36/40/44/48/54/60 (フレーム / 秒)
	720-50P	1/2/4/6/9/12/15/18/20/21/22/23/24/25/26/27/28/30/32/34/37/42/45/48/50 (フレーム / 秒)
感度*2	F12 (2000 lx, 3200 K, 89.9% 反射, 1080/59.94i) F13 (2000 lx, 3200 K, 89.9% 反射, 1080/50i)	
映像 S/N*2	59 dB (標準)	
デジタルズーム	x2, x4	

*1 アップグレードソフトウェアキー AG-SFU602G (制作パック (有償)) 導入時に設定可能

*2 設定メニューの [SYSTEM SETUP] 画面の [SHOOTING MODE] 項目が [LOW LIGHT] に設定されているとき

メモリーカードレコーダー部

記録メディア	P2 カード	
システムフォーマット	1080-59.94i, 1080-23.98PsF*, 720-59.94P, 480-59.94i, 1080-50i, 720-50P, 576-50i	
記録フォーマット	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV フォーマット切り替え	
記録ビデオ信号	1080/59.94i, 1080/29.97P, 1080/29.97PN, 1080/23.98P, 1080/23.98PA, 1080/23.98PN, 720/59.94P, 720/29.97P, 720/29.97PN, 720/23.98P, 720/23.98PN, 480/59.94i, 480/29.97P, 480/23.98P, 480/23.98PA, 1080/50i, 1080/25P, 1080/25PN, 720/50P, 720/25P, 720/25PN, 576/50i, 576/25P	
記録再生時間	AVC-Intra 100	16 GB×1 約 16 分, 16 GB×2 約 32 分 32 GB×1 約 32 分, 32 GB×2 約 64 分 64 GB×1 約 64 分, 64 GB×2 約 128 分
	AVC-Intra 50	16 GB×1 約 32 分, 16 GB×2 約 64 分 32 GB×1 約 64 分, 32 GB×2 約 128 分 64 GB×1 約 128 分, 64 GB×2 約 256 分
	DVCPRO HD	16 GB×1 約 16 分, 16 GB×2 約 32 分 32 GB×1 約 32 分, 32 GB×2 約 64 分 64 GB×1 約 64 分, 64 GB×2 約 128 分
	DVCPRO50	16 GB×1 約 32 分, 16 GB×2 約 64 分 32 GB×1 約 64 分, 32 GB×2 約 128 分 64 GB×1 約 128 分, 64 GB×2 約 256 分
	DVCPRO/DV	16 GB×1 約 64 分, 16 GB×2 約 128 分 32 GB×1 約 128 分, 32 GB×2 約 256 分 64 GB×1 約 256 分, 64 GB×2 約 512 分
	24PN ネイティブ記録時は 1.25 倍長くなります。 上記の時間は、1 クリップとして連続記録したときのものです。記録するクリップ数によっては全体の記録時間は上記より短くなる場合があります。	

* アップグレードソフトウェアキー AG-SFU602G (制作パック (有償)) 導入時に設定可能

デジタルビデオ部

サンプリング周波数	AVC-Intra 100/ DVCPRO HD	Y : 74.1758 MHz, P _B /P _R : 37.0879 MHz (59.94 Hz) Y : 74.2500 MHz, P _B /P _R : 37.1250 MHz (50 Hz)
	DVCPRO50	Y : 13.5 MHz, P _B /P _R : 6.75 MHz
	DVCPRO	Y : 13.5 MHz, P _B /P _R : 3.375 MHz
	量子化	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50 : 10 bit DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV : 8 bit
ビデオ圧縮方式	AVC-Intra 100 AVC-Intra 50	MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile
	DVCPRO HD	DV-Based Compression (SMPTE 370M)
	DVCPRO50 DVCPRO	DV-Based Compression (SMPTE 314M)
	DV	DV Compression (IEC 61834-2)

デジタルオーディオ部

記録オーディオ信号	AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/DVCPRO HD	48 kHz/16 bit, 4ch
	DVCPRO50	48 kHz/16 bit, 4ch
	DVCPRO/DV	48 kHz/16 bit, 2ch/ 4ch 切り替え
ヘッドルーム	20 dB/18 dB メニュー切り替え可	

定格

ビデオ入出力部

〈SDI OUT/IN (OP)〉 端子	HD SDI=BNC×1、0.8 V [p-p]、75 Ω SD SDI=BNC×1、0.8 V [p-p]、75 Ω HD/SD SDI 入力ボード (有償) 装着時、SDI 入力機能が有効 (SDI 入力をメニュー切り替え)
〈MON OUT〉 端子	HD SDI=BNC×1、0.8 V [p-p]、75 Ω SD SDI=BNC×1、0.8 V [p-p]、75 Ω VBS=BNC×1、1.0 V [p-p]、75 Ω (SmartUI 設定で HD SDI/SD SDI/VBS に切り替え可能)
〈HDMI〉 端子	HDMI×1 (HDMI タイプ A 端子、ピエラリンク非対応)

オーディオ入出力部

〈MIC IN〉 端子	<ul style="list-style-type: none"> • XLR (3 ピン) ×1 - +48 V 対応メニュー切り替え - -40 dBu/-50 dBu/-60 dBu メニュー切り替え可
〈AUDIO IN〉 端子	<ul style="list-style-type: none"> • XLR (3 ピン) ×2 入力ハイインピーダンス、〈LINE〉 / 〈MIC〉 (スイッチ切り替え) - LINE : 0 dBu - MIC : -50/-60 dBu (メニュー切り替え)、MIC+48 V ON/OFF (スイッチ切り替え)
WIRELESS IN 端子	25 ピン、D-SUB、-40 dBu、2ch 対応
〈AUDIO OUT〉 端子	ピンジャック ×2 (CH1、CH2)、出力 : 316 mV、600 Ω
スピーカー	20 mm 径、丸形 ×1

その他入出力部

〈GENLOCK IN〉 端子	BNC×1、1.0 V [p-p]、75 Ω
〈TC IN/OUT〉 端子	<ul style="list-style-type: none"> • TC IN/OUT メニュー切り替え - IN : BNC×1、0.5 V [p-p] ~ 8 V [p-p]、10 kΩ - OUT : BNC×1、2.0±0.5 V [p-p]、ローインピーダンス
〈DC IN〉 端子	XLR×1、4 ピン、DC12 V (DC11.0 V ~ 17.0 V)
〈DC OUT〉 端子	4 ピン、DC12 V (DC11.0 V ~ 17.0 V)、最大出力電流 1.5 A
〈REMOTE〉 端子	10 ピン
〈LENS〉 端子	12 ピン
〈VF〉 端子	20 ピン
〈LAN〉 端子 *	100BASE-TX/10BASE-T
〈USB2.0〉 端子 (デバイス)	本体右側に配置。タイプ B、4 ピン、USB ver.2.0 準拠
〈USB2.0〉 端子 (ホスト)	本体右側に配置。タイプ A、4 ピン、USB ver.2.0 準拠
〈USB2.0〉 端子 (ホスト) *	本体左側の扉内に配置。タイプ A、4 ピン、USB ver.2.0 準拠、ワイヤレスモジュール AJ-WM30 取り付けまたは UPLINK 用 USB ケーブル取り付け用

* アップグレードソフトウェアキー AG-SFU601G (ネットワーク機能 (有償)) 導入時に有線 LAN および無線 LAN のネットワーク機能が有効になります。
アップグレードソフトウェアキー AG-SFU603G (UPLINK 機器制御機能 (有償)) 導入時に UPLINK 機器制御機能が有効になります。

オプション

カラービューファインダー	AG-CVF10G/AG-CVF15G
ビデオエンコーダーボード	AG-YDX600G
HD/SD SDI 入力ボード	AG-YA600G
ワイヤレスモジュール	AJ-WM30
アップグレードソフトウェアキー	AG-SFU601G/AG-SFU602G/AG-SFU603G/AG-SFU604G

ビデオエンコーダーボード (AG-YDX600G) 取り付け時の対応フォーマット

質量	約 50 g
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	149 mm×55 mm×31 mm
ファイルフォーマット	MP4 (ISO/IEC14496 規格) MOV (QuickTime 形式)
ビデオ圧縮フォーマット	MPEG4 Simple Profile H.264/AVC Baseline Profile H.264/AVC High Profile
オーディオ記録フォーマット	AAC-LC リニア PCM

HD/SD SDI 入力ボード (AG-YA600G) 取り付け時の対応フォーマット

質量	約 13 g
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	70 mm×50 mm×7 mm
映像フォーマット (AG-HPX600 本体の映像フォーマットに準拠)	HD : 1080/59.94i、1080/50i、720/59.94P、720/50P SD : 480/59.94i、576/50i
音声フォーマット (AG-HPX600 本体の音声記録フォーマットに準拠)	48 kHz、16bit、CH4 (AVC-Intra 100、AVC-Intra 50、DVCPRO HD、DVCPRO50) 48 kHz、16bit、CH2/CH4 切替 (DVCPRO/DV)

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2012